

## 4 立平複層林施業指標林

神岡宮林署

### 設定の目的

カラマツ人工林を列状に間伐し列間にヒノキを植栽し、樹種転換を図りつつ複層林を造成する。

場 所 岐阜県吉城郡上宝村立平国有林224林班は小班

面 積 3.64ha

### 施業等の概要

伐採前の林況は、カラマツ、林齢25年、材積85m<sup>3</sup>/ha、昭和61年2列間伐3列残し（伐採率、本数45%）、2列間伐4列残し（伐採率、本数39%）及び3列間伐3列残し（伐採率、本数51%）で間伐

昭和62年地拵え、同年ヒノキを植栽（2伐3残箇所；1,500本/ha、2伐4残箇所；2,000本/ha、3伐3残箇所；2,500本/ha）

### 調査計画等

昭和61年各試験地の林分内容調査、昭和62年～平成2年及び平成4年、平成6年に植栽木の成育・本数調査、林内相対照度調査、上木成長量調査を実施している。

### 地 況

標 高：1,380～1,430m      林地傾斜：10～30°  
土壌型：B<sub>o</sub>・B<sub>o</sub>(d)      方 位：S

### 林 況

植栽木のヒノキの成育状況は、3伐3残箇所の形状比が低く雪害に強い結果を示している。

カラマツの成長は、各プロットともほとんど差が認められない。

別紙①

課題名(カラマツ人工  
林状伐採試験)

複層林試験地実測図

神岡学林署  
立平国有林双女山林小班

